

令和7年 第7回定例会（9月）

一 般 質 問

質 問 順 位	議 席 番 号	質 問 者	質 問 順 位	議 席 番 号	質 問 者
1	1	飯 田 正 義	4	6	並 木 利 彦
2	3	南 雲 あや子	5	7	高 橋 政 喜
3	4	渡 辺 千 恵	6	8	岸 野 雅 人

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 要 求
1. 基金運用の透明性向上と収益改善について	6月議会では、基金運用の詳細について伺いましたが、町長は「国債などを中心とした運用で約380万円（約0.2%）の運用益が出ている」と答弁されました。しかし、事前調査では運用対象額16億2,000万円に対して運用益380万円は利回り0.23%となり、同規模の聖籠町の運用収入は、令和6年度210.9万円から令和7年度349.6万円の66%増となっており、運用方法によって大きな差が自治体毎に生まれると考えられます。 町長は6月議会で「町民への周知として分かりやすい周知方法を検討していく」と答弁されましたが、具体的にいつから、どのような内容で情報公開を開始するのでしょうか。 聖籠町のように運用状況を含み損益も含めてホームページで公開する予定はあるか伺う。	町 長
2. 繰上償還の合理性と財政効率化について	6月議会で町長は「繰上償還については保証金の支払いが必要となり、保証金が免除されない限りメリットはない」と答弁されました。しかし、新潟県では繰上償還により財政健全化を進めており、全国でも多くの自治体が金利負担軽減のため積極的に実施しています。 具体的に伺います。湯沢町が現在保有している地方債のうち、交付税措置対象外の債務は総額いくらありますか。 これらの債務について借入金利と基金運用利回りとの利鞘はどの程度でしょうか。 保証金を考慮してもなお繰上償還が有利となるケースを検討されたことはあるのか伺う。	町 長
3. 持続可能な財政運営に向けた総合的改革について	現在の財政状況を踏まえ、単なる支出削減ではなく「収入確保」の観点から財政改革を進めるべきです。 公金運用改革により年間1,000万円以上の追加収入確保が可能と試算されますが、これを財政健全化の重要な柱と	町 長

4. 一般社団法人 湯沢町観光まち づくり機構への 支援体制強化に ついて	して位置づける考えはありますか。また、固定資産税の減少対策、ふるさと納税以外の自主財源確保策、民間活力活用による経費削減など、収入確保と支出効率化を両立させる具体的な取り組みの計画があるのか伺う。 現在、地域活性化起業人を湯沢町観光まちづくり機構（DMO）へ派遣されていますが、派遣開始からどの程度の期間が経過し、どのような成果が上がっているのでしょうか。 また、先日8月20日にDMOと議会との意見交換会の際に話に挙げた「これまでの観光協会と何が違うのか全く見えない」という課題に対して、地域活性化起業人はどのような改善に取り組んでいますか。 地域活性化起業人の専門分野、具体的な業務内容、これまでの実績について詳しくお聞かせください。	町 長
5. 組織ガバナンスと予算執行体制、財務管理能力について	宿泊税を原資に、湯沢DMOへの予算化をしようとした際に「数千万から1億円以上を安心して預けられる状態ではない」との指摘がありました。 地域活性化起業人派遣により、DMOの財務管理体制にどのような改善が図られているのでしょうか。また、地域活性化起業人の専門分野が財務管理以外の場合、財務体制強化のための別途支援が必要ではないのでしょうか。 町長の見解とDMOのガバナンス体制強化について伺う。	町 長

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 要 求
1. 湯沢学園の平和教育はどのようなことを行っているか	今年、1945年（昭和20年）8月15日の終戦の日から80年目にあたる大きな節目の年です。 この大きな節目に当たり、戦争を知る世代が少なくなる中、戦争の悲惨さや虚しさを学び、記憶を継承し、「平和の大切さ」「自分は平和のために何ができるか」を考え行動する時ではないでしょうか。 平和教育は、大変重要だと考えます。平和を築き維持していくには、そのための不断の努力が必要であり不可欠です。そして、それを担うのは戦争の非人道性、不条理さを深く認識し、平和の大切さをしっかりと自覚した人であることが求められると思います。 湯沢学園での平和教育関連で、小学校では「絵本の読聞かせ」、中学校では3年に1回の「平和教育講演会」を実施。 町では8月、公民館で「原爆パネル」展実施。また、「二十歳のつどい」開催時、「日本国憲法」の冊子や、「非核平和都市宣言」に関するチラシを配布しているとのこと。 湯沢町には、「湯の町湯沢 平和の輪」という団体があります。この会は、「平和なくして幸せなし」「観光も保養も平和でこそ」を合言葉に、平和憲法を守り活かすことをめざして平和の輪をつくり、広げていくことを目的に活動しています。先ほどの湯沢学園や町での平和教育関連の実施は、「平和の輪」の提案や要請により実施されたものと、聞いています。 1) 平和の大切さをどのようにお考えですか。 2) 今の湯沢学園での平和教育のみで、平和の大切さをしっかりと自覚した人が育つと思いますか 3) 平和教育に対する他のお考えはありますか。	教育長
2. 会計年度任用職員の処遇改善はどのように整備されたか	昨年の6月議会でも、同じ一般質問をしました。湯沢町役場には、令和7年8月1日現在、一般職員118名。再任用職員1名。会計年度任用職員59名がいるそうです。会計年度任用職員の割合は33.33%。この職員割合から言っても、会計	町 長

年度任用職員の仕事は、単純で補助的な業務ではなく、複雑で本質的な業務になってきているのではないのでしょうか。

昨年、町長は「会計年度任用職員の皆さんは、湯沢町の行政運営を進めていく上でとても重要になってきている。」

「給料をはじめ、上げていくことが出来ないか考えている。」「不利益にならないように労働環境を整えていく。」と答弁しています。

どのように整備されたか、お聞きします。

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 要 求
1. 主水公園についてと旧湯沢小学校グラウンドの活用について	主水公園の工事が終わり、この7月OPENになりました。多くの子供たち、散歩をする方などそれぞれの世代が利用しています。 今まで湯沢町の公園にはブランコや滑り台くらいしかなかったので、「ふわふわドーム」「水の流れる場所」など増えたことにより、遊べる幅も増えました。ですが、課題も増えてきたように感じます。 ① 今年の夏は猛暑であり、遊具は火傷しそうなくらい熱くなり、昼間はなかなか遊べない。 この気温の高さは今年だけ特別なものではなく、今後もこのような暑い夏になっていくと考えられる。全体的に日陰の部分や、休めるところも少ないと感じる。 このような声は聞かれていると思うが今後、考えていることはあるのか伺う。 ② 防災棟の入り口に階段を設けたのは、イベントなどができるように作ったと聞いているが、今後の活用の予定はあるのか。 ③ 主水公園は建設課の管轄、隣の旧湯沢小学校グラウンドは総務課の管轄、また避難場所にもなっています。 もちろん大切な避難場所ではありますが、普段、何にも使われていないのが、もったいなさずらいと思いませんか。町民によく聞かれることは「このグラウンドは何に使うのか。走ったり、遊んだりしてもいいのか」という質問が多い。また、建物を造るということだけでなく、このグラウンドを有効活用することなど考えはないのか伺います。 合わせて、町が利用することがあればよいと思いますが、民間、町民に利用してもらうなどのお考えはないか伺う。	町 長

2. 湯沢町の産業及び町有地の今後について	「観光立町 湯沢町」と言われているように、湯沢町の産業は観光です。近年、インバウンドなどで湯沢町は、大変潤いを得ています。 観光業は、湯沢町にとってももちろん一番の産業です。ただ今後、他の産業も伸ばしていくということは考えていないのか。「旧ノリタ光学跡地」「上中子町有地」など企業誘致を行っているが、ある程度、町の目指す産業などターゲットを定め、誘致を行っていくことも必要ではないかと考える。 ① 観光業のほかに、今後伸ばしていきたい産業などの考えはあるのか。それとも観光分野に特化してこのまま進んでいくのか、どのようなことを目指していくのか伺う。 ② 以前にも2回ほど質問をしてきたが、雪を利用した取り組みを考えていくことは考えていないのか。 ③ 旧ノリタ光学跡地や上中子町有地など、企業誘致を行っていきたくは伺っているが、町としてこの場所をこのような産業、またこのような活用として使う企業を誘致したいというように、町としての方向性をある程度絞り、誘致していくことは考えていないのか。	町 長
------------------------------	--	------------

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 要 求
1. 中子町有地売却特別委員会について	① 中子町有地売却特別委員会において賛成少数で「否決すべき」となった後、担当職員から「今後、この土地について、企業誘致を皆さんがどう思われるか、せっかくの機会なので今後の参考としてお聞かせいただきたいと思います。が、いかがでしょう。」と発言があった。町長は、どんな感想（印象）を持ったのか。 ② 中子町有地売却特別委員会において「町有地公募型プロポーザル選定委員のメンバー ・ 大学教授 2 人 ・ 湯沢町まちづくり機構代表理事 ・ 商工会長 ・ 副町長 ・ 役場部長 計 8 人だけで、町民の民意が反映されているのか、企画観光課が都合よく進めている」の私の発言に対し、担当職員から「並木議員、発言を撤回してください」とのこと。私は、撤回しようとは思わなかったが、町長はどう思われるか。 ③ 中子町有地売却にあたり、建物等解体撤去費用相当額(105,600,000円(消費税込))及び埋設廃棄物除去費用相当額(86,900,000円(消費税込))を控除するとの事。 「これは 1 社だけの見積りでいいのか」という質問に「1 社だけの見積りで、いいとの事」。町長は、どう思われるか。	町 長
2. 湯沢町職員の査定制度（人事評価）について	一般的に地方自治体の職員査定（人事評価）は、以下のようないで行われています。 ・ 業務遂行能力や勤務態度の評価 ・ 昇給・昇任・配置転換など人事に反映 ・ モチベーション向上や組織改善 ・ 研修・育成計画の立案 湯沢町は、具体的にどのように職員査定（人事評価）を行っているのかお教え下さい。	町 長

3.町長選挙について	6月の一般質問で、町長に質問した各エリアの観光の掘り起こし。湯沢町観光振興計画の中で示してあるとのことだが、もし町長選挙出馬予定であるならば、どのように各エリアに予算を付け計画していかれるのか。 各エリアの観光の掘り起こしは、夏季観光において待ったなしの状況であるのだからいかかがか。	町 長
-------------------	--	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
1. 大源太川第1号砂防堰堤排水トンネル周辺部の利活用について	平成29年12月議会定例会において、排水トンネルについて質問をさせていただきました。その後、「平成30年3月議会」「令和元年6月議会」「令和3年3月議会」と計4回質問させていただきました。 私は、平成27年4月27日に議会に入り産業建設に所属し、同年、現場視察にて大源太砂防工事の現場を見させていただきました。その時の出会いが無ければ、排水トンネルの利活用も考えなかったと、今になれば思います。 当時は清津峡のトンネルにのめり込み、月に数回通うようになりました。そんな時、大源太の砂防工事に出会い、砂防の方に工事内容について話を伺いました。 排水工事終了後、トンネルは埋められるとの話を聞き、大変ショックを受けましたが、まだ希望はあると考え、砂防の方に清津峡のトンネルの話をして、「トンネルを埋めるのだけは考え直して、利活用を考えましょう」と話した記憶が、現在も脳裏に残っています。 当時の所長も乗り気で、「しかし完成式までは、議員で残っていることが約束と」所長に言われました。 しかし、排水トンネルの利活用も所長が変わるたびに「出来る」「出来ない」と話が変わり、数年間砂防の話は棚上げ状態となり、希望もなくしていました。 今年、砂防の所長が変わり、前回の話が分かる人も来ました。この時、話さなければと思い8年分の思いと排水トンネルの利活用を、熱く語らしてもらいました。 さて、これからは町長に伺っていきたいと思います。まず、排水口に入り暗くて周りが見えません。電気の配線等はどの様にされるのか等、町で考えていることが有れば教えていただければ幸いです。	
2. 湯沢町土砂災害ハザードマップについて	① 湯沢町は災害の少ない町として、危機管理を怠っているのではないのでしょうか。令和3年3月に、「土砂災害ハザードマップ土砂災害防災情報地図」を各家庭に配布しており	

	ます。しかし、皆さんは「我が家は大丈夫」と思っていないでしょうか。 私は、湯沢駅近くに住んでおります。しかし、「土砂災害ハザードマップ 湯沢地区」を見ますと、西山側は土石流が出る恐れのある場所とされています。 今回は、西側の2ヶ所を抽出して伺ってみたいと思います。はじめに、湯元町内に有ります湯之沢川について伺います。 皆さんはあまりご存じないかと思いますが、高半さんの裏から道が有り、細い道が現在の湯沢高原の池の近くに繋がっていました。そこが学校林として、子供たちが昇り下りした場所でした。しかし現在は学校林もなくなり、上がった方の話を聞きますと危険で、今はいけないと話されていました。「現在雨が降ると、茶色の水が流れ土石流の危険があるのではないかと感じます。」が、町長の見解を伺います。 ② もう一カ所は、下熊野の町内に有ります江沢川です。上部のところに治山ダムが有りますが、十数年前に町内会の皆さんに協力頂き、一度振興局に観て頂きました。 危険との事もあり、一部作業をしていただきましたが、完了はせずに終わりとなりました。 その後は、予算が無く手をつけないままになっています。治山ダムの当時の現況は、配布した写真の通りです。水の流れがセンターに入っていないく両サイドに流れ、雨が降るたびに土色の水が流れている状態です。 今回は2ヶ所しか説明できませんが、まだほかにもあるのではないかと心配しています。 町としても、危険個所の点検が必要としますので、町長の見解を伺います。	
3. 湯沢高原周辺のトレッキングコースについて	八木沢・栄太郎峠のトレッキングコースは夏前にコースの草刈りが行われました。また今年、両コースの整備が計画されているとお聞きしましたが、どのような整備がされるのか伺います。また、一楠場コースは整備されるのか伺います。今回の質問は、たまたま大峰山に上がった時、コースを間違えてどの方向に行ったらよいのかわからず困っている親御さんにお会いしました。	

一楠場コースを選び、ゴンドラに行く予定でしたが、「時間を使いすぎ断念し、ゴンドラに帰りたいけど帰るコースを教えてください」との事なので、帰られるコースまで案内し帰っていただきました。

しかし後日、大峰で遭難の連絡が入り、荒戸城址で草刈りしていましたので、急いで上がってみましたら、見つかりへりにて下山されたとの事でした。一安心しましたが、行先は一楠場と聞き「トレッキングコース一楠場」を車で降りてみました。

道は整備されず、コースに入る場所も見分けがつかない所でした。町にお聞きしますが、案内看板を出されているのはどこなのか、又コース整備はどこでされているのか伺います。

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 要 求
1. せめて国道 17 号線二居パーキングの便器は洋式にするよう働きかけを	二居パーキングの男子トイレ大使用は、和式 1 基となっている。女子トイレは和式が 2 基である。 神立道路ステーションの男子トイレ大使用は和式 2 基・洋式 1 基。女子トイレは和式が 3 基・洋式 2 基となっている。 また、石打の塩沢道路ステーションの男子トイレ大使用は、和式 1 基・洋式 1 基。女子トイレは和式が 2 基・洋式 1 基である。ちなみに、月夜野道路情報ターミナルの便所はすべて新しい洋式便器となっている。せめて、二居パーキングの男子大使用と女子用便器は洋式で、しかも便座が温かくなるものにしてもらうべく、働きかけてもらいたい。いかがか。	町 長
2. 自ら招いた財政の逼迫、いかに対処するのか	「宿泊税」議論、要は「お金が足らん」ので「宿泊のお客様から頂こう」というお話に見える。ただ、徴収義務者の「面倒」や「資金繰り」の他、収納のチェックなどの厳しさ、さらに徴収義務者からの圧力も予想される。 さて「お金が足らん」って話に戻るが、前にもお話した「経常収支比率」の変遷は、平成 10 年度頃に約 60%、平成 15 年度頃に約 70%、平成 20 年度頃に約 80%、平成 25 年度頃に約 85%、平成 30 年度頃からは約 90%、そして令和 5 年度からは約 95%で推移してきています。 つまり収入の使い道がほぼ決まっていて、新たなは無論のこと必要と思われる財政需要に対応する余力がほぼないという状況。 経常収支比率 95%というのは、2021 年度の統計順位に比較してみると全国 1,740 自治体中 50 位程度に当たる。ちなみにその年の統計では、上位 3 自治体が 100%を超え、99%台には鎌倉市・箱根町・泉佐野市が名を連ねていた。 ① この財政の視点から見た結果をどう捉えているか。また、反省すべき点があればうかがう。	町 長

	② 令和6年度作成の財政運営指針が、令和7年度当初予算に充分活かされていないと感じている。今後どうするつもりか。	
--	---	--